

気になる今後のまちづくり

町政を問う!



原野 敏彦 議員

問 第四次総合計画が終了し、第五次総合計画が始まろうとしている今、第四次総合計画の結果を見て、総合的に満足いくものではなく疑問が残りました。この計画は多くの町民の方々の参加や、協力によって行うものではないでしょうか。第五次総合計画を進める上においては、絵に描いた餅にならないように計画の進捗状況を電光掲示板によって情報をいち早く発信できればと思います。町長の考えは。



オイコス前に設置されている懸垂幕掲示塔

答 中嶋町長 現在、懸垂幕を掲げています。須恵町総合計画を電光掲示板で周知するのは、費用対効果の面からあまり意味がないと思います。しかし、色々なことをリアルタイムで紹介するのは、場所や掲示方法の問題はありますが、一考の余地があり、検討する時間をいただきたいと思っています。

町民に広く情報発信を 検討する時間をいただきたい



今村 桂子 議員

問 子育てをしながら働く親にとって、子どもを安心して預けられる場所の確保は大切な問題です。須恵町では学童保育所が3ヶ所存在しますが、保育開始時間・終了時間・運用内容も異なり、それぞれの保護者会が運営しています。土曜日開所して年間250日以上の開設があれば県から補助金が出ます。土曜日の開所・平日閉所時間を午後6時に延長・長期休業日の開所時間を午前8時などの見直し、統一は。働く女性は増え続けています。

答 中嶋町長 保護者が昼間家庭にいない小学生に、放課後や夏休みに「遊びと生活の場」を保障する学童保育の役割はますます大きく、いっそうの充実が求められています。この法律ができる以前から、本町は学童保育所にとりかかっていたのですが、そろそろ見直しの時期に来ていると思います。保護者と指導員と教育委員会三者が寄って、一度ゼロから見直して、その期待に応えられるような制度にしていきたいと思っています。

学童保育の運用統一・充実を ゼロから見直す



第1ビスケットクラブ（第1小学校学童保育所）